

回覧													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより
 令和2年12月11日第14号
 文責 校長 川富 一弘

感謝!!学校にタブレット端末が配備

国の施策により児童一人一台のタブレット端末(携帯用パソコン)を配備するという GIGA スクール構想事業を受けて、10日(木)に本校の全児童分が配備されました。

この事業には、もちろん多額の費用が掛かりますし、全国一斉に動くのでタブレット端末の納入もかなり遅れるのではないかと心配していましたが、町教育委員会のご努力で、年内に届いた次第です。大変有り難いことです。

仕様は、児童が使うことを考慮して、衝撃に強く、キーボードも切り離せるもので、今後授業の中でかなり活用できそうです。教室内の無線(Wi-Fi)環境も併せて整えてもらい、後は、教師がいかに活用するか、児童が使いこなせるか、が課題となります。ただ肝心なのは、授業の質の向上が目的ですので、単にタブレット端末に触れさせるだけではいけません。タブレット端末のよさを生かして、より授業が楽しく、わかりやすいものとなるようにまずは教師側のスキルアップと授業研究が不可欠です。年内、年明け早々に校内研修を実施し、1月からの児童がワクワクするような授業づくりに励んでいこうと思います。



THE 研究授業 町内の先生方にも披露



<コの字型になることで対話的な授業へ>



<自分の考えを伝え合う、学び合う子ども達>

7日(月)に、本校の研究授業を5年社会科で内田志野教諭が行いました。国や県が目指す主体的な子ども達の学びの型、姿を本校なりに提案するものです。今回は、町内の先生方にもご案内したところ、小中学校の先生方がお忙しい中に観に来てくださいました。画像や動画といった手作りの資料をもとに、長洲町の海苔の養殖について、子ども達が主体的に学び合う姿があり、参観した先生方からはとても高評価をいただきました。まだまだ発展途上ですが、着実に新しい授業の型が見えてきたような気がしています。年が明けても、職員同士授業を見合いながら、町内外に提案できる授業の在り方を目指していきます。

朝ボランティア(朝の奉仕活動)



学校の東門には、大きな榎が立っています。私もこの木を見上げながら通っていましたが、本校のシンボルツリーとも言えます。

この榎、先月までに银杏の葉が落ちていたのですが、今はこの榎の紅葉後、毎日たくさん落ちています。これを朝登校後の子ども達や職員らが自主的に掃き掃除をしてくれています。ちょうど持久走大会前ということもありますが、お客様が来たら必ず通る場所でもあり、きれいにしておこうと寒い朝が続いていますが、がんばってくれています。冷える朝でも心が温まる光景に癒やされる毎日です。

榎は別名「縁の木」とも言うそうで、人と人をつなぐ学校にはふさわしい木ですよ。4年生の国語の教科書に「プラタナスの木」という物語があるのですが、プラタナス同様、この榎も相当な範囲に根を広げる巨木らしく、きっと駐車場や学童保育の地下に根を張っているのだと思いますし、数々の台風や地震にも負けず本校を守ってくれている木なんだということを感じています。大切なものは目には見えない、見えないながらも必死に幹や枝を支えてくれているのです。学校も、きっと私たちには見えない気づかないところで多くの人に支えてもらっているのです。感謝の気持ちを子ども達に話していこうと思います。

「熊本県いじめ防止基本方針」が改訂されました

平成25年、30年と、高校生のいじめによる自死を受け、県のいじめ防止基本方針が改訂されました。主なポイントの一部を紹介します。

※熊本県教育委員会のホームページにて詳細が確認できます。

改訂前	改訂後
・いじめの定義・・・ケンカは除く	・・・けんかやふざけ合いであっても児童の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否か判断する。
・いじめの解消について・・・記載なし	・・・謝罪をもって安易に解消することはできない。いじめ行為が止んでいること、被害児童が苦痛を感じていないこと。
・教師の連携について	・・・学校内の組織の中に、情報集約担当者を置くこと。

これを受けて、本校のいじめ防止基本方針も本年度内に改訂していきます。あくまでも被害者側の立場、感情を踏まえて、事実確認を行い、迅速、ていねい、誠実に対応していくことを心掛けていくよう、職員全員に周知したところです。

現在、「心のアンケート」を受け、日課を変更して各学級で教育相談(個人面談)を行っているところです。保護者の皆様、地域の皆様も気になることがありましたら遠慮なく学校までご連絡ください。もちろん、いじめの未然防止に全力で取り組むことも継続していきます。

先日、一人の2年生の女兒が校長室に相談にやってきました。どうやらクラス内でいやなことがあるようでした。しばらく話を聴き、つらい気持ちにひたすら共感してあげて励ましただけでした。あとで聞いた話ですが、担当の先生から「〇〇さん、とても笑顔で教室にもどってきましたよ」「校長先生に話してすっきりしたー」と言っていました、と報告を受け、私もとても温かい気持ちになることができました。